

(様式2)新規評価シート

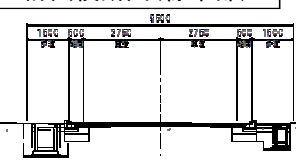
建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)長野真田線	
事業毎の番号	2	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	松代中町(まつしろなかまち)
事業目的	当路線は、長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、通過車両の進入による渋滞、交通事故が発生しています。しかし当交差点は、長野市南部から千曲市にかけての公的基幹病院である長野松代総合病院へ通じる市道との交差点であり、交通が修しているが、右折車線が設置されておらず、恒常的な渋滞が発生している。そのため、本事業により、安全で円滑な交通を確保したい。				
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4生命・生活リスクの軽減(交通安全対策の推進)	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検 街路整備事業((主)長野真田線 松代バイパス)				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	松代小学校、松代中学校 通学者 他 現況自動車交通量:3,481台/日、現況交通量(歩行者・自転車)77人/日				
着手年度	平成30年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	-	国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	交差点改良 L=140m			200,000	110,000 81,000 9,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される 車両交通の円滑化が期待される			
	間接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路、バス路線の整備 通行車両の交通事故抑制			
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量:3,481台/日 ○現況自転車歩行者交通量:現況交通量77台・人/日(松代町豊栄)			評価 B
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:通学路緊急合同点検、街路整備事業((主)長野真田線 松代バイパス) ○緊急輸送道路の路線指定:県緊急輸送道路(2次)に指定			評価 B
	効率性	○事業期間:4年間(H30~H33)			評価 B
	緊急性	○近年の交通事故件数:0件 ○通学路対策:通学路合同点検を踏まえた対策箇所(中町交差点) ○現況の歩道幅員:2.0未満の歩道あり			評価 C
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知(H29.2地元説明)			評価 B
		○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:合意形成が図られている ○住民との協働:住民関与が低い			
所管課意見	交通量の多い路線であり、公的基幹病院である長野松代総合病院へ通じる市道との交差点で、右折レーンが無く恒常的に渋滞が発生していることから、安全な交通空間の確保のため早期の改良が必要である。			採択状況 ○	総合評価 B
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。				

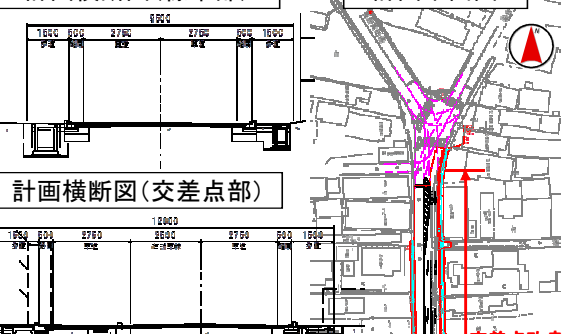
【位置図、平面図、構造図等】



計画横断面図(標準部)



計画平面図



計画横断面図(交差点部)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	中町交差点は長野管平線と長野松代総合病院や歴史的な遺産へ通じる市道とがT字交差となっている。地域の病院利用者や遺産へ向かう観光客により、恒常的な渋滞が発生しており、右折レーンの整備をした交差点形状の見直しの機運が高まった。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本路線は、長野市松代中学校、長野市松代小学校の通学路となっていることから、交差点改良による環境の改善要望が出された。
	③事業説明等の経緯	H27.2月 中町交差点改良基本計画説明会。 H27.3月 地元地権者へ計画説明。 H29.2月 地元地権者へ計画(修正)説明。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	通学路緊急合同点検 街路整備事業((主)長野真田線 松代バイパス)
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	
	⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により沿道の活性化が図られる。
	⑦その他	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 33' 59.18" 東経:E 138° 12' 5.52"